

# 平成27年度 当初予算の概要



小野市  
総務部財政課

# 総括 ～新たな価値観の創造へ 小野市一般会計予算～

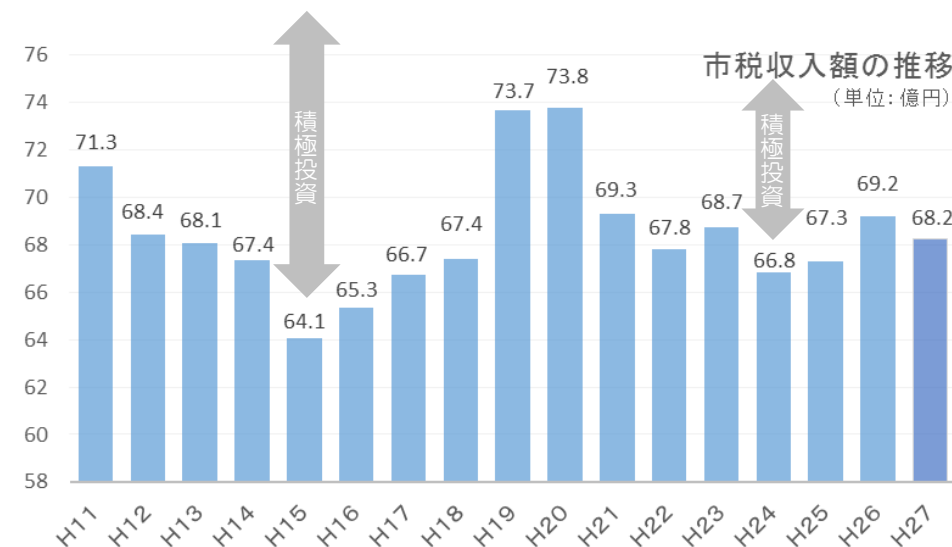
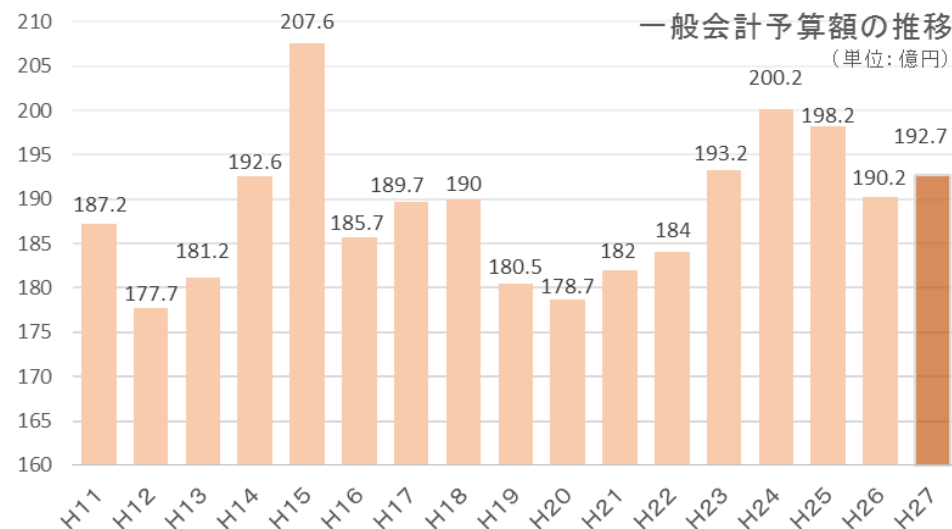
一般会計の予算額は、192億7千万円で前年度比1.3%の増。「特色ある地域づくりの推進」、「子ども・子育て、教育環境の充実」、「元気で美しい都市の創造」、「安全・安心な暮らしの追求」の4つを柱とし、高齢者にも重点を置いた予算編成としました。

市税収入は、法人税などの増により、約68億円（対前年度比1.1%の増）を見込んでいます。基金残高は約91億円（決算見込）を確保し、市債残高は約192億円（決算見込）を見込んでいます。

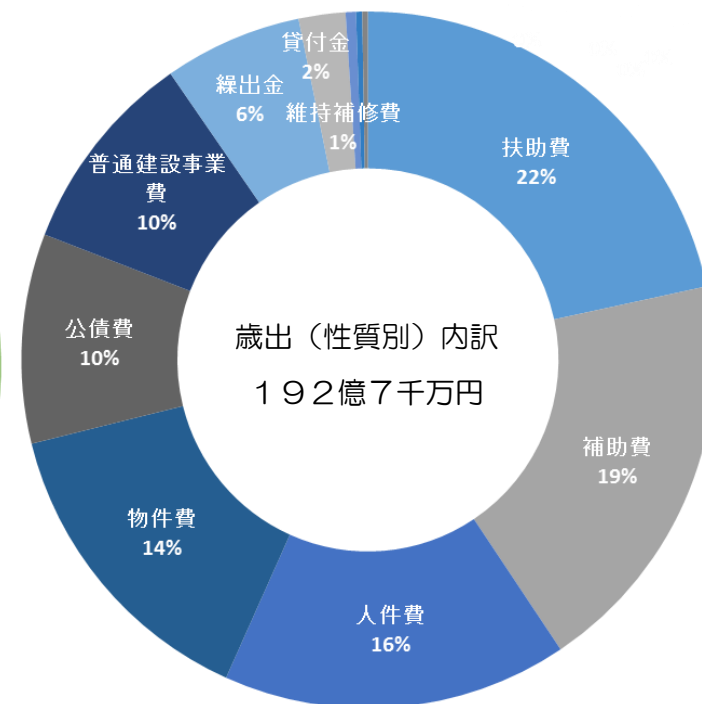
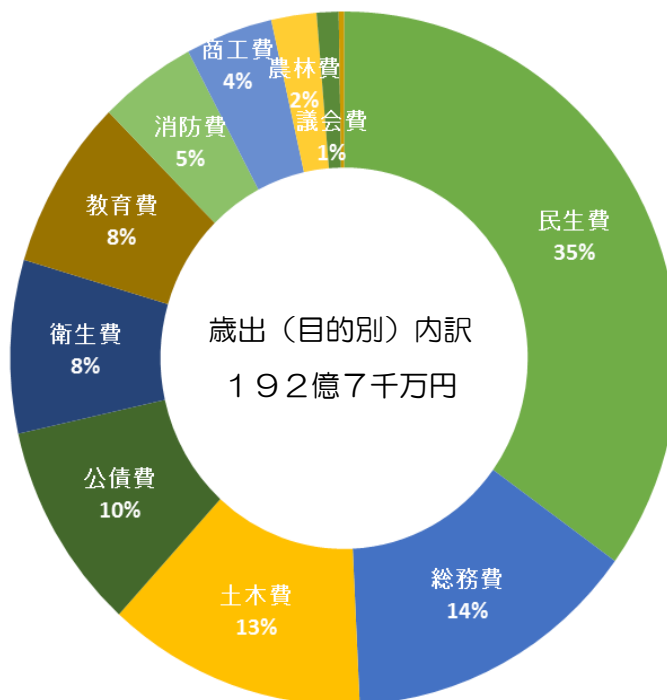
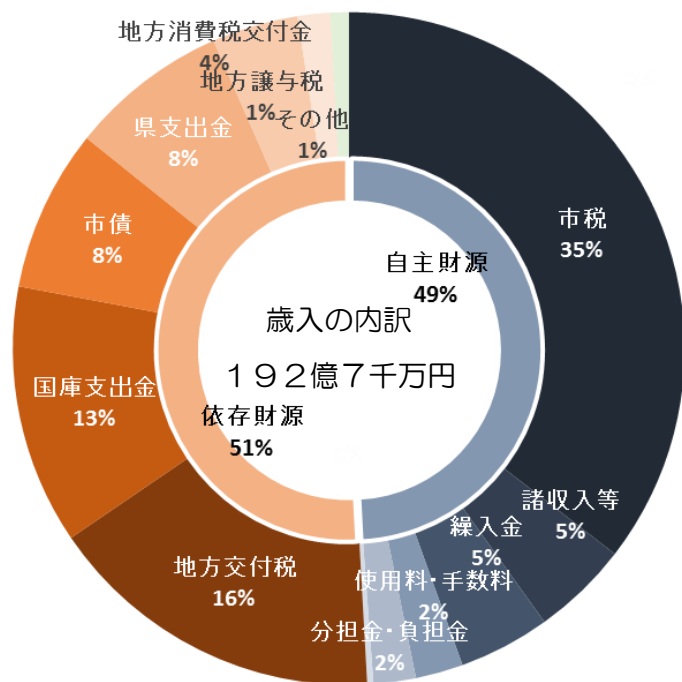
「ハードからハート」をキーワードに、新たな価値観の創造にチャレンジし、“住むなら おの”の更なる進化を目指します。

(単位：千円)

	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
一般会計	19,270,000	19,020,000	250,000	1.3%
特別会計	10,886,000	10,135,000	751,000	7.4%
企業会計	5,409,300	6,030,200	△ 620,900	△ 10.3%
合計	35,565,300	35,185,200	380,100	1.1%



# 歳入・歳出予算の構成



(単位：千円)

	H27	構成	H26	構成
市税	6,824,100	35.4%	6,753,181	35.5%
諸収入等	915,622	4.7%	878,032	4.6%
繰入金	846,163	4.4%	919,068	4.8%
使用料・手数料	441,451	2.3%	441,071	2.3%
分担金・負担金	391,558	2.0%	383,165	2.0%
財産収入	57,303	0.3%	59,761	0.3%
<b>自主財源</b>	<b>9,476,197</b>	<b>49%</b>	<b>9,434,278</b>	<b>50%</b>
地方交付税	3,150,000	16.3%	3,080,000	16.2%
国庫支出金	2,401,997	12.5%	2,208,744	11.6%
市債	1,500,400	7.8%	1,522,700	8.0%
県支出金	1,471,406	7.6%	1,771,778	9.4%
地方消費税交付金	800,000	4.2%	530,000	2.8%
地方譲与税	167,000	0.9%	170,000	0.9%
その他	303,000	1.6%	302,500	1.6%
<b>依存財源</b>	<b>9,793,803</b>	<b>51%</b>	<b>9,585,722</b>	<b>50%</b>
合計	19,270,000		19,020,000	

(単位：千円)

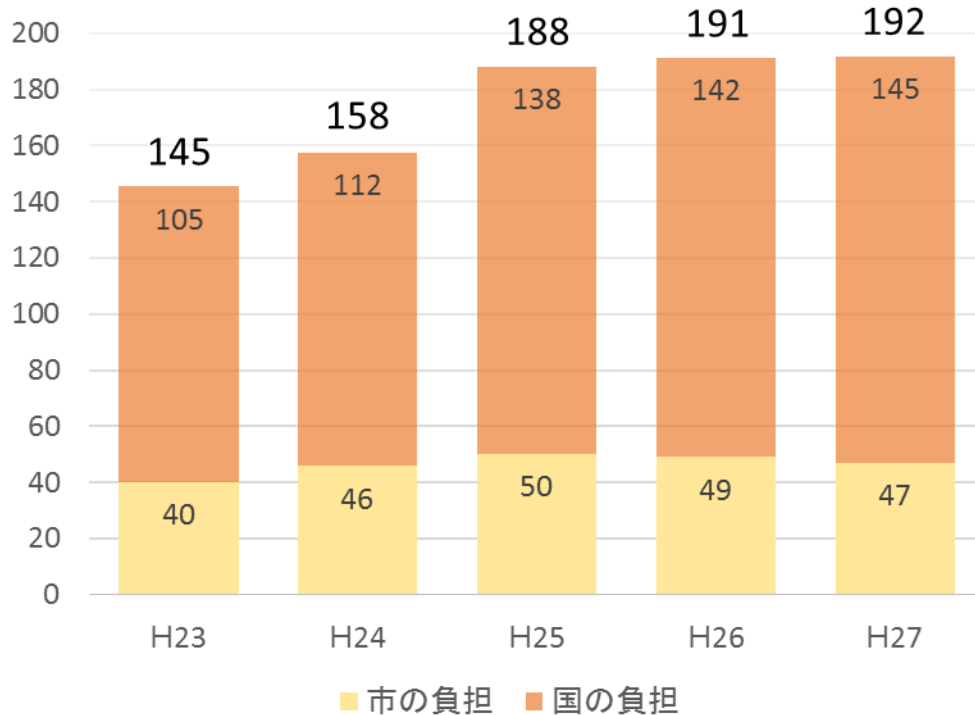
	H27	構成	H26	構成
民生費	6,733,567	34.9%	6,479,585	34.0%
総務費	2,757,689	14.3%	2,597,193	13.7%
土木費	2,413,091	12.5%	2,475,010	13.0%
公債費	1,874,635	9.7%	1,838,184	9.7%
衛生費	1,556,604	8.1%	1,595,181	8.4%
教育費	1,536,841	8.0%	1,483,939	7.8%
消防費	909,046	4.7%	642,954	3.4%
商工費	813,362	4.2%	839,097	4.4%
農林費	421,479	2.2%	838,404	4.4%
議会費	203,680	1.1%	180,447	0.9%
災害復旧費	6	0.0%	6	0.0%
予備費	50,000	0.3%	50,000	0.3%
合計	19,270,000		19,020,000	

(単位：千円)

	H27	構成	H26	構成
扶助費	4,164,679	21.6%	4,058,166	21.3%
補助費	3,661,358	19.0%	3,589,264	18.9%
人件費	3,102,410	16.1%	3,071,683	16.2%
物件費	2,778,405	14.4%	2,737,048	14.4%
公債費	1,874,635	9.7%	1,838,184	9.7%
普通建設事業費	1,828,925	9.5%	1,962,018	10.3%
繰入金	1,241,019	6.4%	1,147,037	6.0%
貸付金	420,400	2.2%	420,400	2.2%
維持補修費	92,072	0.5%	91,981	0.5%
積立金	56,091	0.3%	54,213	0.3%
その他	50,000	0.3%	50,000	0.2%
災害復旧	6	0.0%	6	0.0%
投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%
合計	19,270,000		19,020,000	

# 市債残高と基金残高の推移

## 市債（借金）の残高と市の実質負担

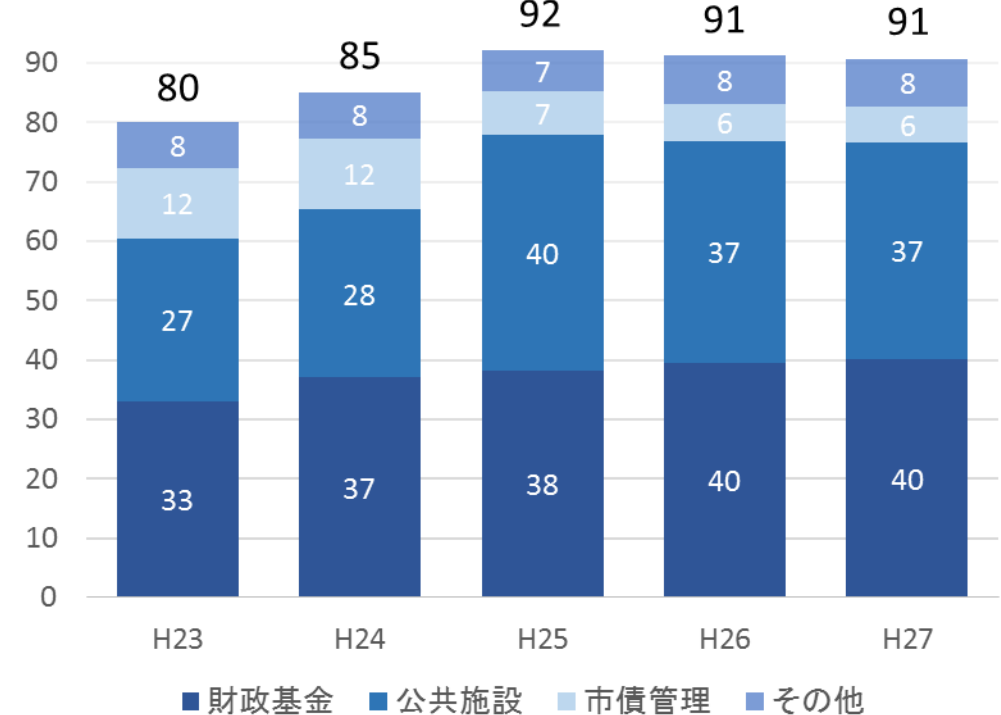


(単位：億円)

臨時財政対策債や新都市中央線整備、はしご車更新などにより、H27年度末の市債（借金）残高は192億円となる見込みです。

しかし、後年度における国の有利な財政制度の活用により、実質負担は47億円（4分の1相当）です。

## 基金（預金）の残高



(単位：億円)

当初予算では、財政基金や公共施設整備基金の取崩しを措置しています。

しかし、決算時点では、歳出の抑制や事業内容の精査等により財政基金の取崩しを抑制し、預金にあたる基金のH27年度末残高目標を91億円としています。

# 財政健全化指標の見込

(単位：%)

	2011	2012	2013	2014	2015	判断基準	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	12.2	11.1	9.1	7.6	6.4	25.00	35.00
将来負担比率	△19.0	△12.7	△20.4	△15.0	△12.0	350.00	—
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	18.18	30.00

(決算見込)

(決算見込)

数値が低いほど、財政が良好であることを示しています。

市債（借金）に対する国の補てんにより、財政健全化指標は優良値を維持できる見込みです。

# 重点項目と主な事業

## ●特色ある地域づくりの推進

※高齢者等の拠点づくり、生きがいづくり支援

※地域活動シニアサポートの推進による元気高齢者の活動助成

※エイジ・ルネサンス・パーティーの開催

○自治会役員への女性参画促進

○小野まつりへの助成

○小野ハーフマラソンの開催 など



## ●元気で美しい都市の創造

○ひまわりの丘公園の整備に向けた調査・研究

○大池総合公園市民広場の整備

○公園施設長寿命化対策の推進

○白雲谷温泉ゆびかの整備

○新都市中央線、その他主要道路の環境整備 など



「※」は、高齢者施策をパッケージしたエイジ・ルネサンス・プロジェクト関連事業

## ●子ども・子育て、教育環境の充実

○保育料の軽減（軽減率 30%）

○中学校3年生までの医療費完全無料化（所得制限なし）

○小中一貫教育の推進

○妊婦健康診査経費の助成拡充

○産後ケア経費の助成

○放課後学習モデル校の実践 など



## ●安全・安心な暮らしの追求

※コミュニティバスの運行拡充（2台増車）

○消防車両の新設・更新（35m級はしご車、水槽車を配備）

○北播磨総合医療センターの健全経営

○防犯灯倍増5000作戦と防犯カメラ設置（自治会等助成あり）

○拠点避難所「防災備蓄倉庫」の新設（計画3基）3年目

○浄谷黒川丘陵地多目的広場の整備 など

